

## 平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年11月11日

上場取引所 大

上場会社名 大村紙業株式会社

コード番号 3953 URL <http://www.ohmurashigyo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大村 日出雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 浅岡 豊治

TEL 0467-52-1032

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第2四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	2,621	6.5	256	38.5	262	39.0	148	42.4
22年3月期第2四半期	2,460	△4.1	185	2.5	188	2.8	104	3.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	30.78	—
22年3月期第2四半期	21.61	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	6,141	4,154	67.7	863.45
22年3月期	5,970	4,057	67.9	843.11

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 4,154百万円 22年3月期 4,057百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,178	3.7	459	5.3	450	0.4	243	0.2	50.53

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 4,884,000株 22年3月期 4,884,000株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 72,099株 22年3月期 71,999株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 4,811,930株 22年3月期2Q 4,812,330株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第2四半期累計期間)	6
(第2四半期会計期間)	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、一部の企業では景気回復基調が見られるものの、円高の進行やデフレ基調の継続等により景気回復にかげりが見える状況です。

当業界におきましては、今夏の猛暑による需要増やエコカー補助金等の政策により生産量は前年を上回りました。

このような状況下において、生産量につきましては、段ボールシート30百万㎡(前年同四半期比8.2%増)、段ボールケース20百万㎡(前年同四半期比14.1%増)となりました。

また、当第2四半期累計期間の業績は、売上高2,621百万円(前年同四半期比6.5%増)となりました。利益面につきましては、経常利益262百万円(前年同四半期比39.0%増)、四半期純利益148百万円(前年同四半期比42.4%増)となりました。

販売品目別の概況は次のとおりであります。

## (イ) 段ボールシート

売上高は521百万円

総売上高に占める割合は19.9%です。

## (ロ) 段ボールケース

売上高は1,708百万円

総売上高に占める割合は65.1%です。

## (ハ) ラベル

売上高は91百万円

総売上高に占める割合は3.5%です。

## (ニ) その他(主に包装資材)

売上高は300百万円

総売上高に占める割合は11.5%です。

## (2) 財政状態に関する定性的情報

## (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ170百万円増加し、6,141百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加によるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ72百万円増加し、1,986百万円となりました。

その結果、純資産は4,154百万円となりました。

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は税引前四半期純利益260百万円(前年同四半期は185百万円)となり、四半期末残高の資金は前事業年度末に比べ153百万円増加し2,032百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその要因は、次のとおりであります。

## (イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は248百万円(前年同四半期は463百万円の収入)となりました。

これらの主な資金増の要因は、たな卸資産の減少額22百万円(前年同四半期は50百万円の減少額)、仕入債務の増加額76百万円(前年同四半期は192百万円の増加額)によるものであります。

一方、主な資金減の要因は、売上債権の増加額37百万円(前年同四半期は41百万円の減少額)、前事業年度の課税所得に基づく法人税等の支払額126百万円(前年同四半期は86百万円)によるものであります。

## (ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は46百万円(前年同四半期は40百万円の支出)となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

## (ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は48百万円(前年同四半期は48百万円の支出)となりました。

これは主に配当金の支払いによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

第2四半期が経過した現段階では、ほぼ当社が期首において想定した推移となりました。  
従いまして、平成22年5月13日発表の通期の業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①貸倒引当金の算定方法は、一般債権の貸倒実績率等が前事業年度の財務諸表作成において使用した貸倒実績率等と著しく変動していないため、当第2四半期会計期間末において、前事業年度末において算定した貸倒実績率等を使用しております。

②定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準等の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる、影響額はありません。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,061,357	1,907,334
受取手形及び売掛金	1,299,169	1,261,810
有価証券	2,673	2,672
商品及び製品	46,665	38,692
原材料及び貯蔵品	174,290	204,796
その他	67,673	67,760
貸倒引当金	△10,393	△10,094
流動資産合計	3,641,437	3,472,971
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	424,317	439,183
土地	1,347,397	1,347,397
その他(純額)	285,340	264,198
有形固定資産合計	2,057,056	2,050,779
無形固定資産	17,606	19,203
投資その他の資産		
投資有価証券	178,888	182,269
その他	256,070	266,109
貸倒引当金	△9,675	△20,398
投資その他の資産合計	425,283	427,980
固定資産合計	2,499,946	2,497,963
資産合計	6,141,383	5,970,935
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,104,653	1,020,134
未払法人税等	115,994	133,637
賞与引当金	78,393	77,866
その他	145,339	144,331
流動負債合計	1,444,380	1,375,970
固定負債		
退職給付引当金	209,126	210,777
役員退職慰労引当金	333,025	327,150
固定負債合計	542,152	537,928
負債合計	1,986,532	1,913,898

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	554,000	554,000
資本剰余金	566,030	566,030
利益剰余金	3,072,913	2,972,933
自己株式	△40,910	△40,852
株主資本合計	4,152,033	4,052,110
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,817	4,926
評価・換算差額等合計	2,817	4,926
純資産合計	4,154,850	4,057,037
負債純資産合計	6,141,383	5,970,935

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	2,460,868	2,621,853
売上原価	1,730,826	1,808,866
売上総利益	730,041	812,987
販売費及び一般管理費	544,641	556,164
営業利益	185,399	256,822
営業外収益		
受取利息	1,745	1,406
受取配当金	1,411	1,356
受取保険料	1,718	3,024
雑収入	2,249	4,488
営業外収益合計	7,125	10,277
営業外費用		
支払利息	37	91
売上割引	3,606	4,297
雑損失	157	409
営業外費用合計	3,802	4,798
経常利益	188,722	262,301
特別損失		
固定資産除却損	2,404	113
投資有価証券評価損	—	627
出資金評価損	—	1,195
その他	640	—
特別損失合計	3,044	1,936
税引前四半期純利益	185,678	260,365
法人税、住民税及び事業税	85,888	109,966
法人税等調整額	△4,215	2,298
法人税等合計	81,672	112,264
四半期純利益	104,005	148,100



(第2四半期会計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	1,243,898	1,305,697
売上原価	839,281	863,197
売上総利益	404,616	442,499
販売費及び一般管理費	281,637	275,208
営業利益	122,979	167,291
営業外収益		
受取利息	977	784
受取配当金	0	0
受取保険料	1,718	1,374
補助金収入	—	1,350
雑収入	1,446	1,545
営業外収益合計	4,143	5,054
営業外費用		
支払利息	37	91
売上割引	1,909	2,027
雑損失	123	159
営業外費用合計	2,071	2,278
経常利益	125,051	170,066
特別損失		
固定資産除却損	71	66
投資有価証券評価損	—	627
特別損失合計	71	693
税引前四半期純利益	124,979	169,373
法人税、住民税及び事業税	37,295	53,683
法人税等調整額	16,656	18,679
法人税等合計	53,952	72,363
四半期純利益	71,027	97,009

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	185,678	260,365
減価償却費	61,502	61,420
未払人件費の増減額 (△は減少)	2,502	△1,925
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△2,406	△1,651
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5,875	5,875
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	10,311	△10,424
受取利息及び受取配当金	△3,157	△2,763
支払利息	37	91
有形固定資産売却損益 (△は益)	△274	△1,093
有形固定資産除却損	2,404	522
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	—	627
出資金評価損	—	1,195
売上債権の増減額 (△は増加)	41,655	△37,404
たな卸資産の増減額 (△は増加)	50,955	22,532
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△10,938	△595
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	△11,136	8,600
仕入債務の増減額 (△は減少)	192,423	76,101
未払金の増減額 (△は減少)	9,989	2,116
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	948	△1,920
未払消費税等の増減額 (△は減少)	9,928	△9,966
小計	546,298	371,702
利息及び配当金の受取額	3,217	2,775
利息の支払額	△37	△91
法人税等の支払額	△86,087	△126,006
営業活動によるキャッシュ・フロー	463,391	248,380
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	△101	△63
有形固定資産の取得による支出	△41,164	△46,982
有形固定資産の売却による収入	603	1,550
投資有価証券の取得による支出	—	△750
従業員に対する貸付けによる支出	△270	△700
従業員に対する貸付金の回収による収入	645	672
投資活動によるキャッシュ・フロー	△40,287	△46,273
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△188	△58
配当金の支払額	△48,126	△48,087
財務活動によるキャッシュ・フロー	△48,314	△48,145
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	374,789	153,960
現金及び現金同等物の期首残高	1,342,475	1,878,197

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,717,264	2,032,157

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## (1) 生産実績

当第2四半期累計期間の生産実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	前年同四半期比 (%)
シート (千㎡)	30,590	+8.2
ケース (千㎡)	20,587	+14.1
ラベル (千通)	18,448	+24.3

## (2) 製品仕入実績

当第2四半期累計期間の製品仕入実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	前年同四半期比 (%)
ケース (千円)	92,041	+12.3
附属品 (千円)	3,677	+47.6
その他 (千円)	94,741	+7.7
合計 (千円)	190,461	+10.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (3) 受注状況

当社は段ボールシート、段ボールケース、ラベルについては受注生産ではありますが、生産と販売との関連において製品の回転がきわめて早く、月末における受注残高が少ないので「(4) 販売実績」を受注とみて大差ありません。

## (4) 販売実績

当第2四半期累計期間の販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	前年同四半期比 (%)
シート (千円)	521,518	△4.0
ケース (千円)	1,708,405	+8.0
ラベル (千円)	91,057	+9.4
その他 (千円)	300,872	+18.9
合計 (千円)	2,621,853	+6.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。